

## 令和5年度 教育・保育施設評価アンケート結果について

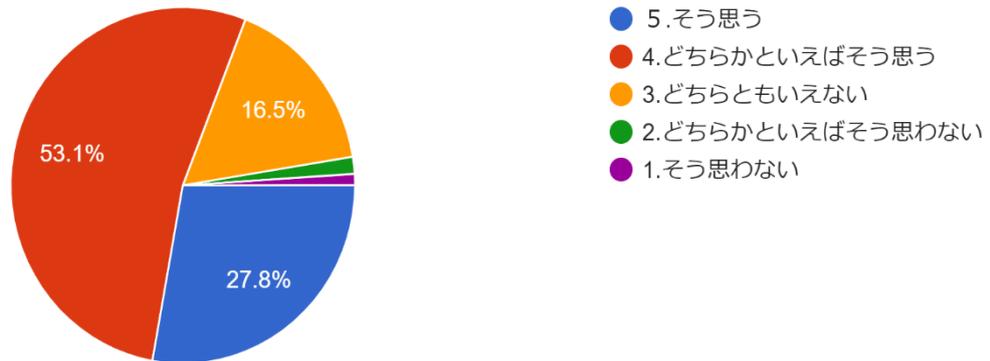
平素より本園の教育保育にご理解賜り、感謝申し上げます。

さて、保護者の皆様にご回答いただきました令和5年度 教育・保育施設評価アンケート結果をまとめましたのでお伝えさせていただきます。なお、自由記述項目は要約させていただき、後日別紙にてご案内させていただきます。お忙しい中、アンケートにご協力くださり、誠にありがとうございました。

【回答数】194（神戸鹿の子幼稚園 186、神戸鹿の子KITA 若干名、神戸鹿の子道場南口園若干名）

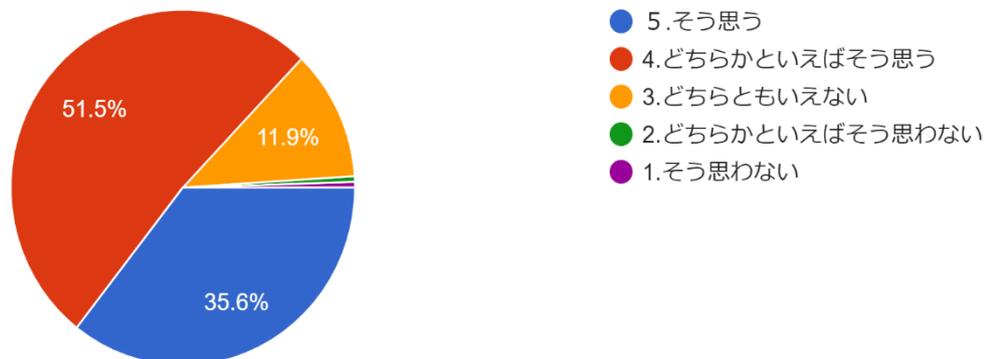
### 1. 園の教育・保育理念が周知されている。

194件の回答



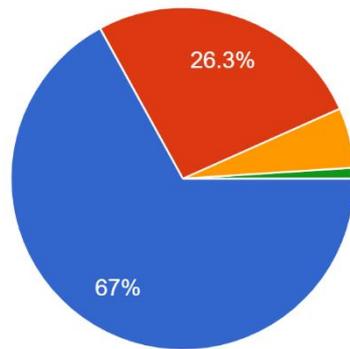
### 2. 園の教育・保育理念に基づいた保育がなされている。

194件の回答



### 3. こどもは安心して園での生活を過ごし、楽しんで通っている。

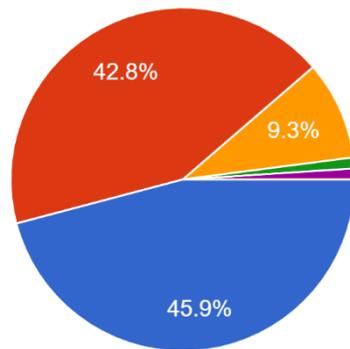
194 件の回答



- 5. そう思う
- 4. どちらかといえばそう思う
- 3. どちらともいえない
- 2. どちらかといえばそう思わない
- 1. そう思わない

### 4. こどもの主体的な活動が保障されている。

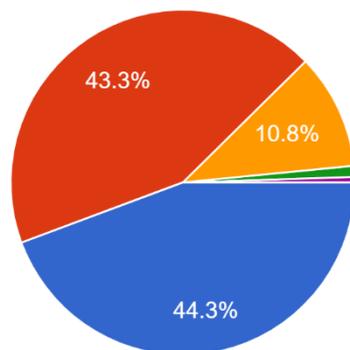
194 件の回答



- 5. そう思う
- 4. どちらかといえばそう思う
- 3. どちらともいえない
- 2. どちらかといえばそう思わない
- 1. そう思わない

### 5. 園はこどもたちの多様性を受容し、尊重している。

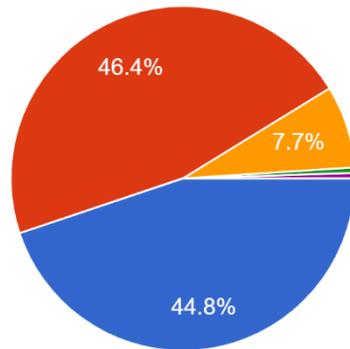
194 件の回答



- 5. そう思う
- 4. どちらかといえばそう思う
- 3. どちらともいえない
- 2. どちらかといえばそう思わない
- 1. そう思わない

6. 園生活（活動）において、こどもたち（自分）なりに納得し、理解を示している。

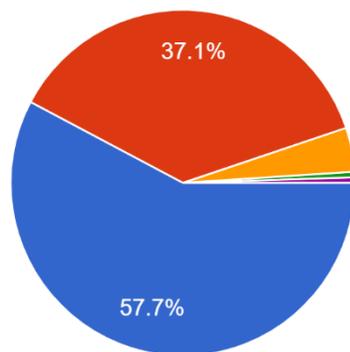
194 件の回答



- 5. そう思う
- 4. どちらかといえばそう思う
- 3. どちらともいえない
- 2. どちらかといえばそう思わない
- 1. そう思わない

7. こどもたちの園での経験が、ご家庭で活かされた場面がある。

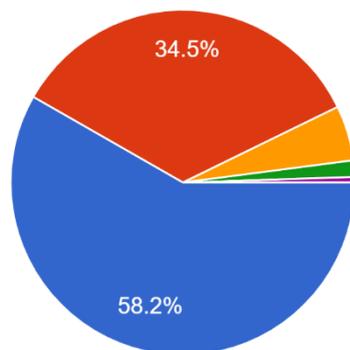
194 件の回答



- 5. そう思う
- 4. どちらかといえばそう思う
- 3. どちらともいえない
- 2. どちらかといえばそう思わない
- 1. そう思わない

8. 保育者はすすんで挨拶を心がけ、こどもに温かい言葉遣いで接している。

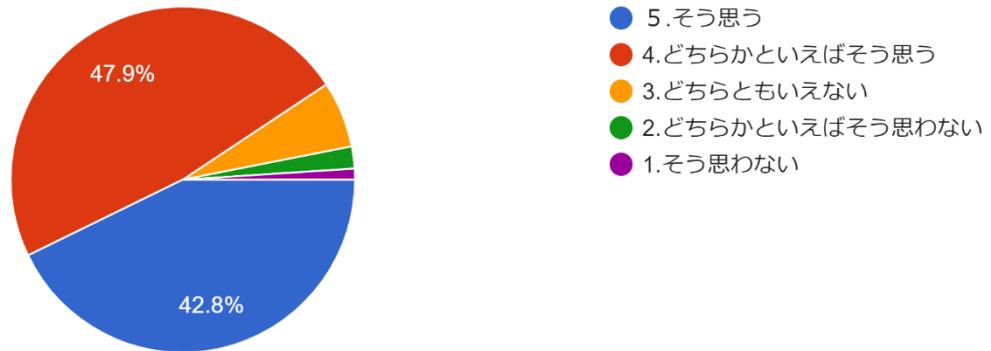
194 件の回答



- 5. そう思う
- 4. どちらかといえばそう思う
- 3. どちらともいえない
- 2. どちらかといえばそう思わない
- 1. そう思わない

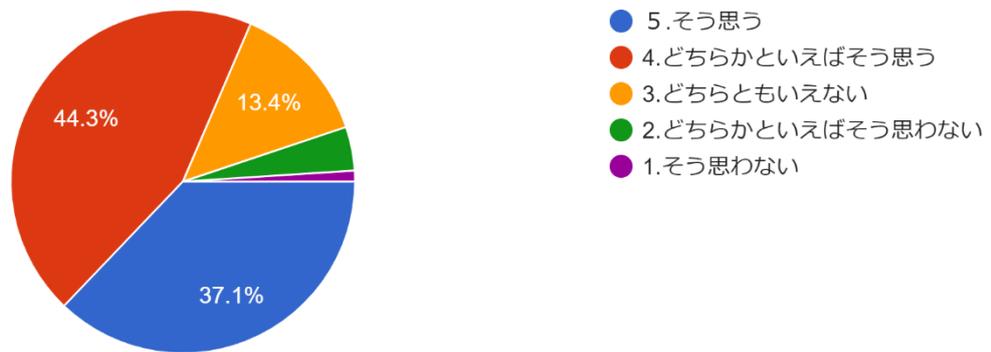
9. 一人ひとりの子どもをよく理解し、個性に応じた適切な援助をしようと努めている

194 件の回答



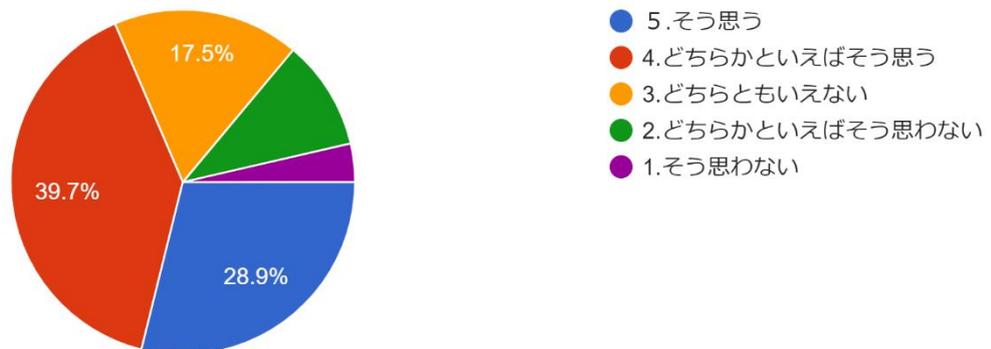
10. 預かり保育や園庭開放など子育て支援に積極的に取り組んでいる。

194 件の回答



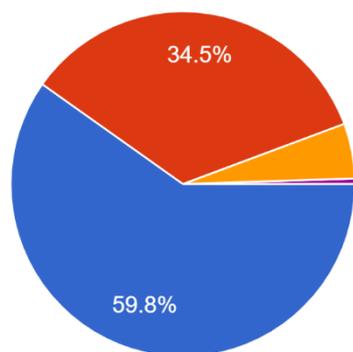
11. 保護者の意見や相談等が話しやすい体制がとられている。

194 件の回答



1 2. こどもが園内で気持ちよく生活できるように清潔にし、環境整備に努めている。

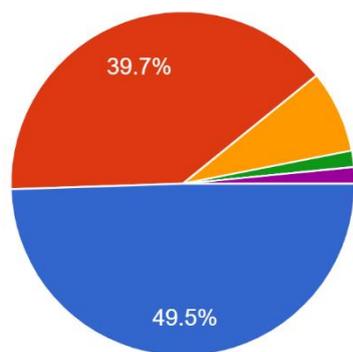
194 件の回答



- 5. 思う
- 4. どちらかといえば思う
- 3. どちらともいえない
- 2. どちらかといえばそう思わない
- 1. そう思わない

1 3. 施設内の設備・遊具が充実している。

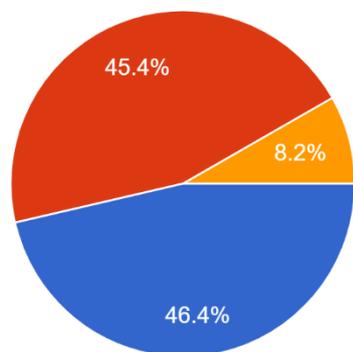
194 件の回答



- 5. 思う
- 4. どちらかといえば思う
- 3. どちらともいえない
- 2. どちらかといえばそう思わない
- 1. そう思わない

1 4. 施設内の設備・遊具が安全に使えるように整備されている。

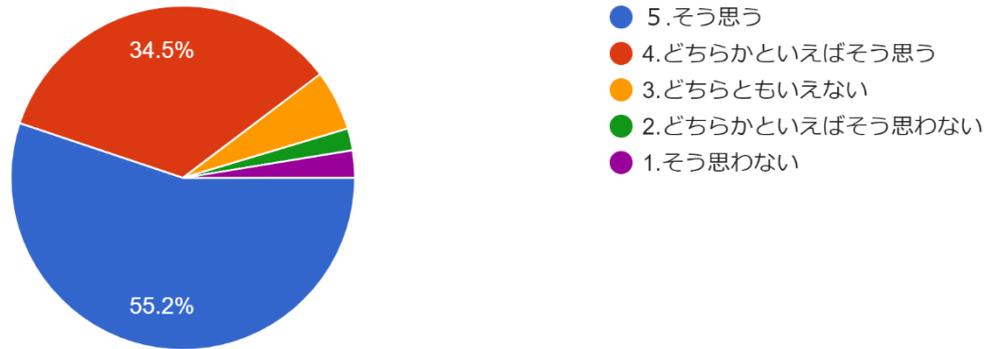
194 件の回答



- 5. 思う
- 4. どちらかといえば思う
- 3. どちらともいえない
- 2. どちらかといえばそう思わない
- 1. そう思わない

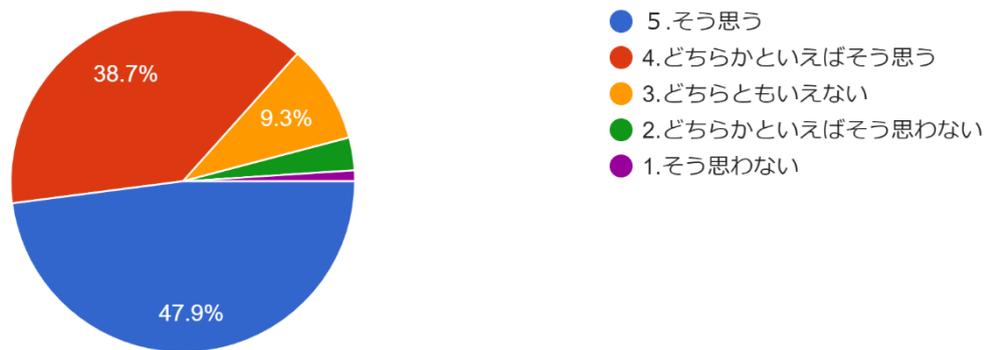
15. こどもの健やかな成長を考えた栄養バランスのとれた給食を提供している。

194 件の回答



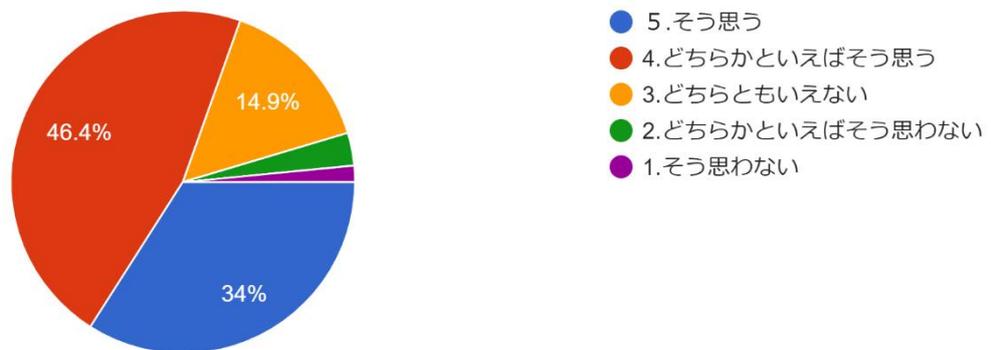
16. こどもたちは、総合的に考えると給食に満足している。

194 件の回答



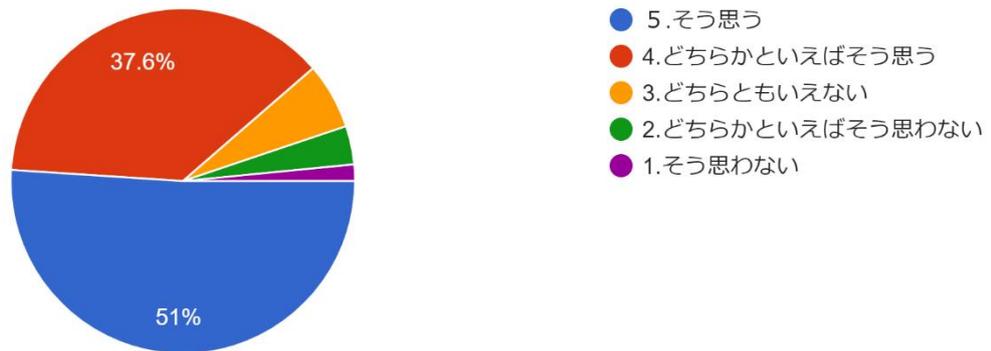
17. 園は感染症対策に努め、拡大予防に努めている。

194 件の回答



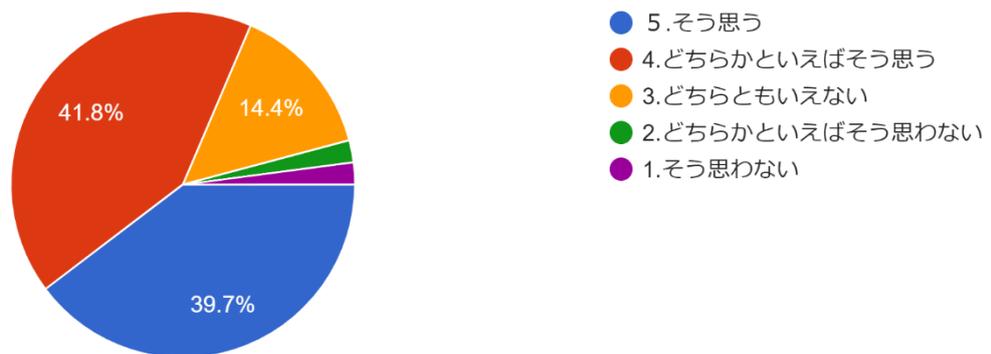
### 18. 感染症情報が保護者に適切に発信されている。

194 件の回答



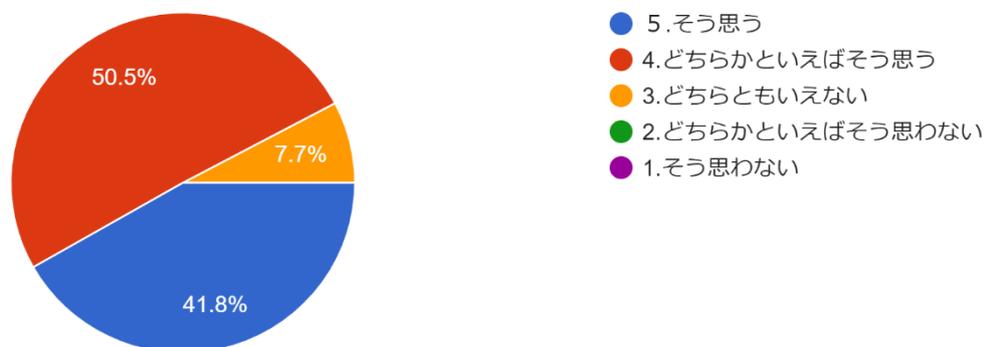
### 19. 園内でのトラブル・ケガなどが適切に処置・対応されている。

194 件の回答



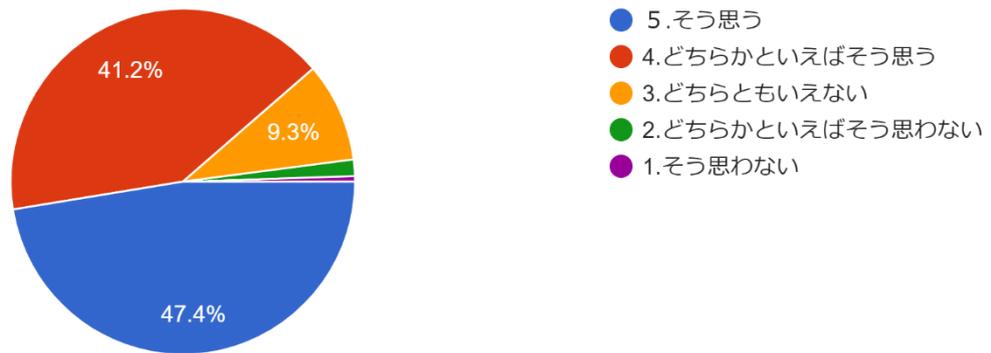
### 20. 安全・防犯管理に努め、また危機管理意識向上に努めている。

194 件の回答



## 2 1. 災害発生時における園での対応が保護者と共有できている。

194 件の回答



## 【自由記述内容まとめ】

この度はアンケートにご協力くださり、また温かいお言葉や労いのお言葉をたくさん頂戴し、ありがとうございました。今学園全体で目指している「こども真ん中の保育」に関し、皆様方から多大なご支援をいただきましたことは、職員一同にとって励みになりました。今後もお子様のよりよい気づき学びに繋がるよう努めさせていただきます。

さて、今回も、皆様から幅広くご意見をいただくため、匿名の回答にさせていただきました。

なお、自由記述の回答内容は要約させていただいておりますので、予めご了承ください。

総じて園児数の割合により幼児クラスの内容が多くなっております。

また、おひとりの方から複数ご意見いただいているものは、各領域に分けて返答させていただいております。

### こどもの主体性について

- ・自分達で育てたお野菜を使って調理した活動は、食育の面で本当に良かった。
- ・子どもの自分でやりたいという気持ちを尊重してサポートしてくれる。子どもたちも楽しく遊びながら成長したように感じた。
- ・主体性を重視されている点が具体的にどの点なのかよくわからない。
- ・日々、伸び伸びと過ごせ、幼稚園に行くことを毎日楽しみにしているので、ありがたい。
- ・園で過ごしたことによって、色々な場面でよく考えたり、疑問に思ったことを放っておかずに調べたり、創造力豊かに考えを展開したり、またお友達の気持ちを考えたり、本当にこれからの人生に大切なことをたくさん学ぶことができたと思う。
- ・子供達に企画から目的を達成するまでの過程を経験させてもらえる保育活動が多く、今の時代に合わせた教育方針に共感した。

まず初めに、乳幼児教育・保育の「主体性」について改めてご説明させていただきます。

こちらは昨年度もお伝えさせていただきましたが、初めてご覧になれる方は是非お目通しください。

「主体性」と似た言葉として「自主性」や「自由」がありますが、混同しやすいため、本園での教育活動における用途を整理しております。

- ①「主体性」・・・自分で考え、自分で行動する
- ②「自主性」・・・ある程度決められている中で、自ら率先して行う。
- ③「自由」・・・他からの束縛を受けずに、自分の思うままにふるまう。

①「主体性」と②「自主性」どちらも大切な資質・能力ですが、お子様の発達の時期によってその割合が変わり、幼稚園では「主体性」、小学校では「自主性」を育む活動が重点となります。

また、「主体性」と一番混合されてしてしまう言葉に③「自由」という表現があります。

「子どもがやりたいことを全てしてもらおう」が「自由」となりますが、子どもたちが「やってみたい!」と言ったからといって、服をはさみで切ったり、石を部屋に投げたりする行動を「子どもたちの主体的な取り組み」と捉えて見守ることはいたしません。

園には、「教育」と「養護」の両面があり、「安心・安全」を前提としたうえでの「子供の主体的な活動」を担保していくこととなります。

しかしながら、どこまでを「安全・安心」と捉えるかは、園によって考え方の違いがあるかと思えます。

本園の場合ですと、0～5歳のお子様が活動する中で、持ち物や服装などについて、紛失・破損によるケガ・トラブル、そして事故防止の観点からルールを定めております。

しかしながら、時代の変化とともに改善できるルールもあるかと思っておりますので、お気づきの点がございましたら直接お尋ねいただけますと有難く存じます。

小学校と幼稚園の違いについて、もう1点重要なキーワードとして「認知能力」「非認知能力」があります。

「認知能力」・・・読み書き計算など、IQ等で表現される力

「非認知能力」・・・自分を大切にし、自分を高めようとする力、周りの人とうまくやっていく力、自分の感情をうまくコントロールする力等

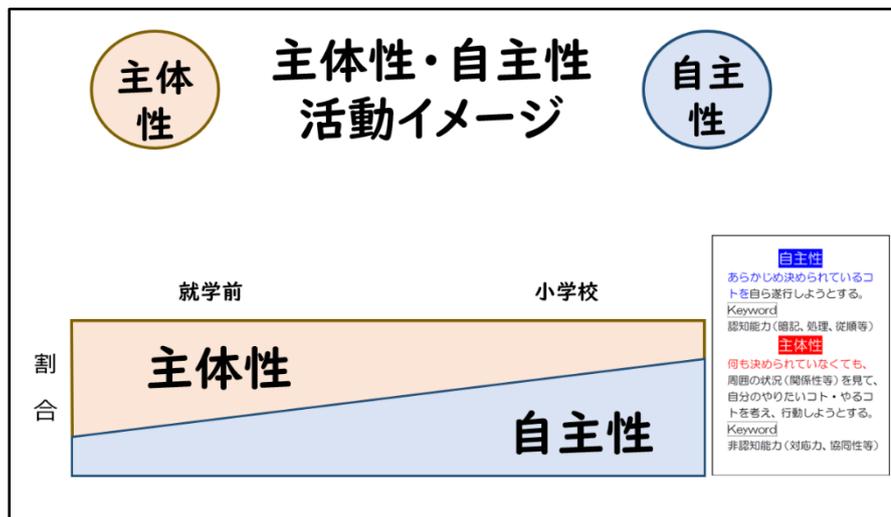
(東京大学 cedep 「非認知能力の育ちを支える幼児教育」より)

この「認知能力」と「非認知能力」は、「ペリー就学前プロジェクト」より以下のように捉えられています。

- ・ 幼児期に「認知能力 (IQ)」を高める活動をしなくても、4年後には「認知能力 (IQ)」の差は見られなくなる。
- ・ 大人になってから差がでてくるのは、幼児期に培われた「非認知能力」である。

以上のことから、幼児期では主体性に通じる「非認知能力」を育み、自主性に通じる「認知能力」を小学校以降で育むことが子どもの学びの流れとして適切であると考えられています。

なお、活動内容は幼稚園では「あそび」が、小学校では「教科教育」となります。



- ・ 先生によって保育の差を感じ、他のクラスでは字を教えてもらっていたり製作をしていたり、羨ましく思う事が多々あった。
- ・ おもちゃも、トラブルがあれば禁止、取り上げるではなく遊び方を教えたり一緒に考えたりすればもっと楽しんで行ってくれたのかなと思う。
- ・ 保育者によって教育方針が違う。

ご意見ありがとうございます。

クラスによって活動が異なるため、お家の方による「●●をしてもらいたい」というお子様への願いや、ご期

待に沿えないことがあるかと存じます。

とても重要な点で、「子どもの主体性」と「多様性の尊重」は、不可分の関係にあります。

それは、クラスや子ども達の興味・関心は画一的なものではなく、そこから派生されていく活動は多様性を帯びるからです。

しかし、子ども達が興味を持つテーマや取り組む活動は様々ですが、保育者は、各活動の中で「5領域」や「幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿」という共通の心の育ちがあり、保育者はその観点を持って「舵取り」をいたします。

「五領域」	幼児期の終わりまでに育ってほしい『10の姿』
健康	健康な心と体
人間関係	自立心
環境	協同性
言葉	道徳性・規範意識の芽生え
表現	社会生活との関わり
	思考力の芽生え
	自然との関わり・生命尊重
	数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚

つまり、内容で同じ活動をするのではなく、各活動の中で目指す「心の育ちが共通」ということになります。

何卒、個々やクラスの活動を「差」ではなく「違い」としてご理解いただき、その中でのお子様の心の育ちにご注目いただけますようお願い申し上げます。

保育の多様性については、かのこチャレンジフェスタおよび Show & Tell の項目でも後述させていただきます。

お友達同士の関わりでトラブルがあった場合、今回ご意見がありました通り、子ども達同士が納得し合える形を保育者は一緒になって思案することが第一となります。

この度のケースがどのような状況だったか詳細は分かりかねますが、もし保育者が「養護」（例えば危険回避や気持ちの安定など）を優先したほうがよいと判断した場合は、環境を変える等、お子様の意識の先を変えるような関わりや環境設定を行うことがあります。

なお、職員で共有している鹿の子学園の教育方針は以下のとおりです。

鹿の子学園 教育方針
主体的な活動の保障
多様性の受容・尊重
納得・理解
活かす・生きる
楽しい（結果楽しいが残る。明日も行きたいと思える園）

上記の教育方針は、教育保育施設評価アンケート（4）～（7）でもお聞かせていただいている項目です。

この教育方針のもと、現場での具体的な子ども達との関わりについては、その時のお子様の様子やクラスの状態によって、そのクラスへの月毎の「願い（目標）」が異なってくるため、クラスによって関わりの違いがでてきます。

もし上記教育方針から逸脱した関わり方や、具体的な関わり方で気になる点がございましたら、園までお問い合わせいただけましたらと思います。職員に改めて共有させていただきます。

## かのかチャレンジフェスタについて

幼児クラスの「かのかチャレンジフェスタ」に関しては、以下のようなご意見をいただきました。

- ・例年運動会は10月3週目だったので、今年度は2週目になり小学校の運動会と被ってしまった。親子参加の競技があるので、可能であれば被らないようにお願いしたい。
- ・チャレンジフェスタが親と参加する競技ばかりで残念だった。
- ・保護者が参加できる行事を増やして欲しい。
- ・チャレンジフェスタが殺風景だった。クラブ発表のあるクラブとないクラブがあった。展示物でもいいのでみんなが発表の場があっても良かったと思う。
- ・学年みんなで一つの事を作り上げていくのも大切かなと思う。
- ・リレーがこじんまりし過ぎていた。
- ・運動会が期待はずれだった。
- ・運動会の他に、音楽会、作品展を復活してほしい。

本件に関しまして、プログラムの目的や説明が十分にお伝え出来ていなかったことをお詫び申し上げます。

また、「かのかチャレンジフェスタ」に係る通知のファイル名が、過去の「運動会」の標記のままとなっていたことなど、本年度は運動会を実施したかのような誤解を招き、大変申し訳ございませんでした。

本学園では、令和4年度から従来の行事を見直しさせていただき、現在「運動会」は実施していません。

現在のプログラムに移行した理由は、子ども達が次世代に必要な資質・能力の基礎を培うための時間を確保することにあります。

従来の運動会の種目の中から主体性を考える方法もありますが、(この方法を選択する園が最近増えられているかと思えます。)運動会のイメージから離れると、選択肢がさらに広がり、より子どもたちの興味関心に沿った活動内容になるかと思えます。

重要な点は、各プログラムは「子どもたちの普段のあそびの延長線である」ということです。

本学園として重きを置いている取り組みは、「練習」<「試行錯誤」であり、職員が主導して練習を進める形ではなく、子ども達が「よりよくしたい(しよう)」とする気持ち、姿や意欲を大切にしております。

ですので、「かのかチャレンジフェスタ」や「かのか Show&Tell」は、「活動の発表会」というよりも、普段の取り組みをお家の方に見ていただくという点で、「保育参加」や「保育参観」のイメージとして捉えて頂けたら幸いです。

そして、例年鹿の子台小学校の校庭で実施させていただきました「かのかチャレンジフェスタ」ですが、

- ①小学校の校庭で開催することにより、準備物に制限ができ、活動の選択肢が狭まる。
- ②日々の活動の延長線上にあるプログラムであり、その日だけ校庭で行うことにより、子ども達はいつもと違う気持ちで取り組まなければならない。

といった理由により、令和6年度からは平日の期間で園内(または千代が谷公園)にて実施させていただきます。

何卒ご理解ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

今後も、子ども達の姿から、環境設定や活動・あそび内容が変容していく過程で、その中から子ども達が挑戦してみたい活動を抽出していきたいと思えます。

## かのか Show&Tell について

幼児クラスの「かのか Show&Tell」に関して、以下のようなご意見をいただきました。

- ・初めての発表だったので、普段なかなか見ることがない姿や表情も見ることができ、家とはまた違った様子を見ることができ子どもの成長も感じました。
- ・子供たちの主体性を伸ばすという点はとてもいいと思う。子供も頑張っていて差があるのは仕方がないのかもしれないが、保護者の立場として同じ保育料を払っているのに差があると悲しい。
- ・Show&Tell のビデオが欲しかった。行事の時はカメラの業者を入れて欲しい。
- ・曇り天候当日、保護者が開場前に並ぶ場所がわからなかった。判断がしにくい天気の場合は、何かしら知らせてもらえると助かる。
- ・写真販売数が減ってしまったことが残念。
- ・製作も学年でそろえてほしい。
- ・他のクラスの様子も見たい。学年ごとに開催するのもいいかと思う。
- ・主体性を尊重することは素晴らしいが、園全体や学年単位で開かれる活動もあっていいのではないかと思う。
- ・チャレンジフェスタ、Show&Tell などのイベントで子供たちの意見を取り入れて作り上げていくのは、すごく良いと思う。ただ、先生方のまとめ具合に差を感じる。
- ・チャレンジフェスタや Show&Tell など子どもたちの主体的な活動を尊重した取り組みが素晴らしく、たくさんさんの貴重な経験をさせていただいていると感じる。
- ・大きな行事がチャレンジフェスタと Show & Tell の2つになったということが今年度は認識できていたので、日頃の保育の一部がその2つにつながっていく過程も感じながら過ごすことができた。  
やはり、園の方針と共に、それを具体的に親が感じ取れる場や行事については、しっかりアナウンスすることが大切だと感じる。

この度は、3F の会場までお並びいただく場所に関しまして、至らない点があり、誠に申し訳ございませんでした。皆様スムーズにお待ちいただけるよう、掲示や職員の配置を検討させていただきます。

もしご不明な点や判断に迷われることがございましたら、ご遠慮なくお近くの職員までお尋ねくださいませ。

写真・ビデオ撮影についてですが、全日程（5日間）園へカメラマンを派遣することが難しいとの業者からの回答があり、撮影できない現況となっております。引き続き折衝を続けて参ります。

さて、先述いたしました子ども達の興味関心による活動の違いについて、改めましてご説明申し上げます。

次世代に必要な力の基盤となるものが「主体的・対話的・深い学び」ですが、もう一つの重要なキーワードに「多様性」が挙げられます。

将来、こどもたちは今以上に多様な価値観が混在する社会に身を置くことになります。

そこでは多様性を認め、尊重し、よりよい社会を相互に築く力が求められます。

まだ同学年複数クラスを持つ幼稚園や保育所では、他のクラスがやっていることは、自分のクラスもやるもの（やらなければならない）という意識文化があるかと思えます。

しかしながら、先述した次世代社会を見据えますと、現行の重視している保育観を、クラスの「差」ではなく「違い」という認識をもち、子ども達が多様性を受容し、尊重に繋がる経験を大切にしたいと考えております。

そして、鹿の子学園では、見栄えやレベルといった「何をやったか」という外見ではなく、「興味・関心ある活動の中から、子ども達が意思を示し、試行錯誤する過程で心が育つこと」を大切にしています。

チャレンジフェスタも Show&Tell のプログラムも、クラスカラーや、クラスのお子様の特性に鑑みながら、今

の子ども達が楽しんで取り組めることを子ども達と保育者、そして管理職含め一緒に考えさせていただいております。

子ども達1人1人が違うからこそ、クラスでできることも、活動内容も異なります。

それらは、「差」ではなく「違い」であり、その「違い」が認められている環境だからこそ、子どもたちの主体的な活動（子ども達が考え、実行する機会）が保障されます。

今後も、活動そのものではなく、その「過程における気づき・学び」をお家の方と共有できるよう、努めさせていただきますので、何卒ご理解ご協力賜りたく、よろしくお願い申し上げます。

また、本学園では、「共主体（子ども・保育者・保護者・地域の方、みなが主体的に学び合う姿）」を目指すべく、お家の方が園にお越しいただける日（保育参加日）を拡張する等、他のクラスの様子もご覧いただける機会を増やしていきたいと考えております。

かのかチャレンジフェスタ、かのか Show&Tell の目的は、「クラス」または「子ども一人ひとり」が「したいこと」を認め、尊重する場を提供することです。

時には、「お家でもできること」や「お家で見たことがあること」がプログラムになるかもしれません。

しかし、子ども達がなぜそのプログラムを選択したのかというと、

子ども達が、「クラスのお友達」と「園」という場所で、「たくさん人の前で」見せたいからです。

私たち大人目線からすると、自他比較したり、せっかくの機会なので「こうしてほしい」という気持ちが出てきたりするかと思います。勿論それは、子ども達に「よりよい経験をさせてあげたい」という思いからです。

ですが、大人の「こうしてほしい」という気持ちが強く表れてしまいますと、子ども達は、自分自身の表現よりも、大人の視線や、大人が期待する答えを探し始めます。

本学園では、幼児期の子ども達には、本来の自分自身が持っている個性や表現を存分に発揮してもらいたいと考えています。

個々が認められている状態（それぞれの自己肯定感が高い状態）だからこそ、クラスによって活動の違いがあっても、自分たちの活動に自信をもって取り組むことができます。

今後も、幼児期から活動の中で個々に「違い」があることを知り、「違い」を認め、尊重する力に繋がっていくよう努めて参りますので、何卒お力添え賜りますようお願い申し上げます。（次世代社会（今以上の多様性が存在する社会）で生きる力の育成）

## 防犯・セキュリティーについて

- ・ 駐車場側の入り口の QR コードのロックについて、登園時間や一斉の帰りの時間は QR なしで普通に出入りできたらありがたい。
- ・ 兄弟が多く手が塞がっている時や特に雨の日にスムーズ入れるとありがたい。
- ・ 正門の施錠が保護者の方によって開けっ放しにされているので防犯上、心配。
- ・ 保護者証に名前も幼稚園もクラスも書かれてるので、カードには姓か名だけで迎えの時にフルネームで名前を伝えるなどの方が安全？
- ・ 土曜日の防犯安全面が少々気になる。（職員室が無人、電話が繋がらないことがあったため）
- ・ 駐車場から入り、職員室側扉を開けるまでの通路が暗いと思う。（神戸鹿の子幼稚園）

ご意見ありがとうございます。

土曜日についてですが、平日との職員体制が異なるものの、園内のセキュリティーは通常通り作動しておりますのでご安心ください。ですが、臨時の対応などで一時的に職員が電話機近辺から離れ、電話がつながるまで

お時間を頂戴することがあります。ご不便をおかけすることがあると思いますが、少し時間を空けて再度ご連絡いただけますと幸いです。

保護者証ですが、職員の園内での身分証明書として取り扱いさせていただいておりますのと、保護者証を落とされた場合、ご本人様にお届けできるケースもあるため、現行の運用とさせていただいております。

また今後、園でも検討しながら総合的に判断させていただこうと思います。

お手間になる点もあるかとは存じますが、保護者証の携帯や、扉の締め忘れなどがないように何卒ご協力をお願い申し上げます。

神戸鹿の子幼稚園の駐車場通路につきましては電灯を改良させて対応させていただきます。

### 制服・持ち物について

- ・制服のブラウスをポロシャツなど、シワにならないものにしてもらえたら嬉しい。
- ・制服ではなく私服だったらありがたいなと思う時があった。
- ・制服販売もアプリから注文できないか
- ・制服類の指定を減らしてほしい。
- ・制服購入日を増やすかネット注文できると嬉しい。
- ・制服が普段の生活には機能的ではなく園児が着るには適していないデザインだと思う。
- ・ピンが良くて飾り付きのゴムがだめな理由が分からない。小学校でもそういう制限がないので許可して欲しい。
- ・夏の靴下白しか履けないのは困る。白は汚れが目立つし白以外も黒とかも許可して欲しい。

ご意見ありがとうございます。

制服に関する指定緩和ですが、随時検討させていただきます。

私服への移行は現段階では想定しておりませんが、機能性については園でも大切なポイントとして考えております。ただし、仕様が変更された場合、価格調整が必要となる可能性もあります。

発注方法等についても制服業者と共有させていただきます。

持ち物などの園のルールは管理的な側面が大きく、保護者の皆様方にご不便をおかけすることも多々あるかと存じます。「多様性の尊重」と、「ルール(制限)」のバランスで難しい点がありますが、児童期に比べると幼児期はまだ自己管理が難しいため、大切なものを紛失したり、破損したりする可能性がございます。

飾り付きがエスカレートしていくことも考えられ、また破損等を避けるために職員の注意範囲が今以上に広がってしまうため、園の都合で大変申し訳ございませんが、現段階ではこのようなルールとさせていますことを何卒ご容赦ください。

またヘアピンでも、飾り付きのピンはお控えいただいております、ヘアピンやゴムはシンプルなものをご利用いただくようご協力をお願い申し上げます。

### 諸費用について

- ・進級時等の用品の値上げや毎月の保育充実料、預かり保育等の賃金が高い気がする。
- ・新年度の物品が高すぎるので、単価をきちんと出してほしい。

各保育業者における価格高騰が続いており、皆様にご負担をおかけし申し訳ございません。

令和6年度用品の金額表をお示いたしますのでご確認ください。

毎年値上がりが続いている中、保育用品業者における販売価格から差し引き調整をした金額で提供させていた

だいております。

物価高騰による全体的な値上げは致し方ない点もありますが、本園で管理ができる範囲で、出来る限りお安く提供できるよう、業者変更等含め検討させていただきます。

なお、教育保育充実費につきましては、重要事項説明書にも記載させていただいております通り、本学園の職員雇用および事業所運用するために必要な費用となっております。

何卒ご理解賜りますようお願い申し上げます。

#### 給食について

- ・好きな食べ物は給食と言うくらい給食が美味しいらしく、給食が好き。
- ・給食が足りないと言う子がいた。クラスによって量は調節してもらえているか。
- ・給食の内容がレパトリーが少なく同じものがよく出ている。
- ・病院食のようで行事食も少ない。
- ・給食の品数が増えればいいのかと思う。

ご意見ありがとうございます。内田フーズと情報共有させていただきます。

鹿の子学園での給食は、「食べたい」「食べてみたい」という気持ちの向上と、「食べることができた」という達成感を得ることを大事にしております。

ですので、お子様によって（保育者の配慮とお子様の同意をもって）量を増減させることがあります。

園内では給食会議の実施し、子ども達の食べ進みや残食量など意見交換をしながら献立表を作成いただいておりますが、食材費や人件費が高騰している中、今のままでは現在の給食内容を維持することも困難な状況になります。本件については、神戸市へ燃料高騰に係る助成金の継続を上申するなど、方法を検討しております。

#### 子どもとの関わりについて

- ・先生が子どもを呼ぶ際手を引っ張っているのが気になる。
- ・家での食事の際ひじをついたり、座り方が正しくなかったりするので園でもそういう場面があれば話して欲しい。
- ・髪の毛がボサボサで帰ってきたり、ゴムが一つ取れた状態で帰ってきたりすることがある。
- ・鼻の下が鼻水でカピカピだったりするので子どもに教えてあげたり帰るまえに身なりを整えて欲しい。

ご意見ありがとうございます。この度は、ご不安な思いをおかけしてしまい誠に申し訳ございません。

力を入れて手を引っ張る行為は、子どもの人権だけではなく、特に小さなお子様の場合は肩が抜けるなどのケガの恐れもあります。職員と情報共有のうえ、お子様との関わり方の意識を高めさせていただきます。

生活習慣、マナーにつきましては、お子様と一緒に仕方を伝えたり、身だしなみが整うように気を付けて見ていきたいと思っております。

## ケガやトラブル対応について

- ・子どもから、お友達とトラブルがあったと聞くが担任の先生から聞かされた事は一度もない。
- ・お友達とトラブルがあって先生にお話をするとしっかり解決をしてくれて子どもが安心して学校へ行ける環境を作ってくれている。
- ・子供が怪我をした時の状況や処置について丁寧に教えてくださる。
- ・子供が友達に何かされた時に報告してくれるが何故されたのかが分からないから、自分の子どもにどう対応してよいのか分からなかった
- ・お互いふざけてたのか、どちらが意地悪してたのか等を教えて欲しかった。
- ・バス内で特定の子供に何度も叩かれているが、園やバスの添乗員、先生からはなにも報告がない。叩かれていること自体把握されていない。なにも対策されていない。
- ・園でこけたり怪我をした際洗ったり処置したりしてもらってない時がある。
- ・先生がお迎えの際にケガの報告をしてくれない時がある。
- ・遊具から落下して頭を打ってしまった時に、職員は見れておらず、防犯カメラにも写っていなかったため、状況が分かりづらくて不安なことがあった。職員の対応は丁寧だったが、不安が残った。
- ・子どもがお友達から押されケガをしたことを職員に伝えたら、相手の子に聞き取りをしたら報告すると言われた後報告がなかった。
- ・遊具での怪我の対応、処置をもう少し手厚くしてほしい。一つ一つの遊具に、必ず大人がつくようにしてほしい。
- ・迎えの際に報告頂くことが多いが、叩かれた、などの事柄を子ども本人から聞くことがあり、先生が把握していないことがある。
- ・つねられた、噛まれたが一時期多くあった。

この度はお子様のトラブル発生時に至らない点があったことについてお詫び申し上げます。職員間で共有させていただき、トラブルがあった際は経緯などしっかりお伝えさせていただくよう努めさせていただきます。

園庭に関しては、年度途中からカメラを2台追加設定いたしました。遊具1機につき職員一人が必ず付くことは難しいため、遊具で安全に遊ぶためのルールを今一度子供達としっかり共有し、またヒヤリハットの活用など、大きな怪我に繋がらないよう予防させていただきます。

この度はバス内でお子様がおられるトラブルに関して、多大なご不安をおかけし誠に申し訳ございません。

依然状況が改善されていない場合は、お手数ですが園までご連絡をお願い申し上げます。

解決されるまで、責任をもって対応させていただきます。

今後も、お家の方とお子様がお安心して園をご利用をいただけるよう精進して参りますので、よろしくお願い申し上げます。

## バス利用について

- ・園選びの際に幼稚園バスのルートについて問い合わせたところ、副園長から相談していただけたら、と言われたが、(HPにも記載)入園金をお支払いした後にルートの変更が難しいことが発覚し、急遽、車での送迎となった。

この度は、私(副園長)の配慮の足りないご案内により、大変なご迷惑をおかけいたしましたこと深くお詫び申し上げます。

保護者様のご入園手続き前に、私も立会いの下、対応の可否を確認すべきであった点、猛省しております。今後このようなことがないようにバスルートに関する丁寧なご相談の場を提供に努めさせていただきます。また、ホームページ上に古い情報を継続して掲載していた点につきましても改善させていただきます。

## 通知・連絡について

- ・園からの連絡が1号メインで分かりづらい。
- ・長期休みの間における保育の様子が見えにくい。保育者の人数は変わっていないのであれば、通常通りの連絡帳での情報共有をお願いしたい。夏休みなどは特に期間も長いため、園での子供の変化に気づきにくく不安。
- ・お迎えの時にもう少し今日したこと出来事を教えて欲しい。
- ・家庭保育協力日の出席希望を出すことをこちらも仕事を調整できない結果であるので、その辺りご考慮頂きたい。
- ・欠席情報等について、感染症対策にも繋がる為7時30分以降の情報もおうちえんで表示して欲しい。
- ・普段の幼稚園生活で相談しやすい窓口とかが常設してあればいいと思う。

ご意見ありがとうございます。

お手紙などの通知内容が分かりやすいよう努めさせていただきます。

長期休み期間および家庭保育協力日では、職員の研修、ミーティングおよびお休みを取得させていただくうえで、イレギュラー体制をとっております。

つきましては日々の様子は、恐縮ではございますがお迎え時にお伝えする形でさせていただけたらと思います。家庭保育協力日につきましては、強制ではございませんので可能な範囲でご協力いただけますと幸いに存じます。ご都合がつかない場合は保育利用いただけます。

欠席情報ですが、現在の設定では欠席連絡を7時半ㄆとしております。(職員は7時半になってから当日の欠席者一覧を確認しており、随時れんらくアプリで欠席連絡を受けた場合、職員がその都度対応することが困難なため)

れんらくアプリ上で、感染症情報を少しでも新しい情報にアップデートできる方法を検討いたします。

相談窓口ですが、現状ではホームページにある問い合わせフォームをご活用いただけたらと思います。

今後もお家の方がご相談しやすい方法を検討いたします。

## 保育参加について

- ・保育参加の機会を学期単位ではなくもっと増やして欲しい。
- ・保育参加やボランティアを経験したことで、同じクラスのお友達の顔がよくわかり、普段子供と会話する中でお友達の顔を思い浮かべながら話ができ、とても良かった。
- ・来年度から、さらに色々な構想を具現化していかれることと思いますが、保護者が積極的に保育の場に参加できる機会を希望者にだけでも設けたらどうか。

ご意見ありがとうございます。

0～2歳児クラスで年2回実施している保育参加ですが、幼児クラスでも徐々に範囲を広げて募集ができるよう計画中です。

保育参加を通じて、お家の方と一緒に園生活での子どもたちの「気づき」「学び」の場面を共有していきたいと考えております。

## 課外教室について

- ・園からバスで水泳教室に直接通えると聞いて、是非取り入れてほしい。
- ・体操教室に通っているが、お迎え時間が合わないうえに見る機会もなく、何をしてできるようになったか不明。

ご意見ありがとうございます。

今後課外教室を新規導入する計画があがった際、参考にさせていただきます。

課外教室の窓口は、誠に申し訳ございませんが、各課外教室の実施事業者となります。

今回いただいたご意見はウエルネスにお伝えさせていただきます。

## 園長先生

- ・園長先生は常日頃から笑顔が無くいつも怒っている様な表情している。
  - ・ご挨拶をしてくださる時は笑顔だが、子ども達が発表している時、もう少し柔らかい表情のほうがよい。
  - ・幼稚園のイベントが終わり帰る際、子どもがトイレに行っているため立って待っていると「速やかに帰ってください。」と近距離にも関わらずスピーカーで指摘された。
- 呼びかけをするのは分かるがもう少し対応を変えていただきたい。
- ・能登半島地震の義援金の話は、地震に対してネガティブな感情を抱くお子様もいると思うので控えた方がよかったのでは。

ご意見ありがとうございます。

この度は至らぬ点により不快な思いをさせてしまい、大変申し訳ございませんでした。

本件、園長の方にも共有させていただきました。

また、義援金につきましても配慮が足りなかった点をお詫び申し上げます。

この度の皆様にご協力いただきました義援金ですが、本園を含めた兵庫県幼稚園協会で合計 5,497,649 円集まりました。皆様の温かいご支援、ご協力に感謝申し上げますとともに、被災地の 1 日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。

## 懇談について

- ・個人懇談中、子供がいると詳しい話が出来ないので、その間だけ子供を預かってほしい。

ご意見ありがとうございます。

懇談期間中は、各担任の職員が懇談対応しているため、お子様と別室でのお話を希望される方は、預かり保育（2・3号の場合事由以外預かり）を利用いただけますと幸いです

## 駐車場の利用について

- ・送り迎え時、イベント時、保護者同士が話して広がられると、登園しにくい時がある。
- ・バトンの日（月曜日）の車の混み合う時間を知りたい。

ご意見ありがとうございます。

駐車場内は車の出入りが多く、お子様の事故に繋がる可能性もございますので、くれぐれも長居をされないようご理解ご協力をお願い申し上げます。

課外教室等については、情報を共有のうえお伝えさせていただきます。

## 衛生関係 感染症

- ・学級閉鎖になる時、即時のお迎えの定義が難しい。翌日から学級閉鎖という対応をお願いできたら嬉しい。
- ・外でお水を飲む時衛生面で気になる方もいるかなと思う。
- ・手洗い場に石鹸がないところがあるので石鹸を増やして手を洗えるようにしてほしい。
- ・学級閉鎖について、何処の学年で発生したかの情報がほしい。

ご意見ありがとうございます。

学級閉鎖は、お家の方の欠席連絡を基に園医として相談のうえ、いつから実施するかを決めさせていただいております。

感染拡大を抑制するため、できる限り集団での接触の時間を少なくすることが求められるため、学級閉鎖が当日のご通知となってしまふことがあります。

ご不便をおかけすることとなり、誠に恐縮では御座いますが、何卒ご理解賜りますようお願い申し上げます。

出来る限り皆様にご迷惑がかからぬよう、早めの対応ができるよう、努めさせていただきます。

衛生面の環境設定について、対応が不十分な点について再考させていただきます。

学級閉鎖の情報共有については、学級閉鎖発生時、他学年さんへも共有させていただこうと思います。

- ・鹿の子幼稚園に入園して本当に良かったと思う。
- ・先生が大好きで、先生方のサポートのおかげで、お友達とも楽しく遊べたりコミュニケーションを取ることができている。
- ・先生方の理解のおかげで、グンッと成長した1年になったと思う。
- ・いつも楽しそうに行ってくれてるのでとても嬉しく思う。
- ・日に日にできる事や言葉が増え、園で過ごす時間が成長に繋がっていると実感している。

この度は、たくさんの温かいお言葉をいただき誠にありがとうございます。

職員の日々の努力が実を結んだことを知り、これ以上ない喜びを感じております。

皆様の温かいご支援のおかげで、子ども達は安心して成長することができております。ご家庭での支援やご理解がなければ、私たちの教育保育活動も成り立ちません。この場を借りて、心より感謝申し上げます。

今後も、保護者の皆様と共に、お子様の健やかな成長と、お子様にとって幸せな未来を築けるよう、一層努めてまいります。

また、何かお困りごとやご不安な点がございましたら、いつでもお気軽にお知らせください。

## 最後に

今回全てのご意見に対して明確な回答が出来ていない部分もあるかと思いますが、皆様から頂戴いたしましたご意見は、すべて拝読させていただきました。

本園として至らない点があるかと存じますが、皆様のご意見を拝聴しながら子どもたちのよりよい育ちに繋がる環境を提供していきたいと思っておりますので、今後とも学校法人鹿の子学園の教育・保育にご支援ご協力賜りますようお願い申し上げます。

用品名		メーカー名	メーカー 販売価格	園販売価格	年長 (5歳児)		年中 (4歳児)		年少 (3歳児)		2歳児		0・1歳児	
お道具箱 (布・中) くま		チャイルド社	940	900	○	900	○	900	○	900				
のり (250円)		大成文具	—	250	○	250	○	250						
	(カチットキャップ)	ひかりのくに	240	240					○	240				
はさみ	右	ひかりのくに	600	510	○	510	○	510						
	(左きき用) 左	チャイルド社	460	510	○		○							
	(#6 ぞう) 右	チャイルド社	508	410					○	410				
	左	ひかりのくに	530	410					○					
クレパス プラスチックケース入り		さくらクレパス	946	800	○	800	○	800	○	800				
かき方鉛筆 (2本/1本60円)		大成文具	—	120	○	120	○	120						
消しゴム (70円)	※R7年度は80円	大成文具	—	70	○	70								
かきかたマーカー (ビニールケース8色)		ひかりのくに	670	590	○	590	○	590	○	590				
自由画帳 (280円)		ひかりのくに	—	280	○	280	○	280	○	280				
白化学粘土	セット	ひかりのくに	680	670	○	670	○	670	○	670				
	(500) 粘土のみ	ひかりのくに	380	350	○		○		○					
	(小 押型付) ケースのみ	ひかりのくに	300	320	○		○		○					
粘土板 (中 押型付)		ひかりのくに	690	620	○	620	○	620	○	620				
なわとび縄 すいーとジャンプ		フレーベル館	715	700	○	700	○	700						
手提げぞうさんバック (ホック付)		チャイルド社	580	630	○	630	○	630	○	630				
通園リュック (3,800円)		松尾カバン	—	3,800	○	3,800	○	3,800	○	3,800	○	3,800		
おたよりばさみ (A)		フレーベル館	583	530	○	530	○	530	○	530	○	530	○	530
おはようブック・タテ		チャイルド社	400	400	○	400	○	400	○	400				
給食コップ	ブルー	学研	260	270	○	270	○	270	○	270				
	ピンク	学研	260	270										
ナフキン (120円)			—	120	○	120	○	120	○	120				
お昼寝用シーツ		ひかりのくに	2,750	2,400							○	2,400	○	2,400
出席シール (預り) (300円)			—	300	○	300	○	300	○	300				
名札 (預り) (160円)		学研	—	160	○	160	○	160						
名札 (預り) (170円)		ひかりのくに・フレーベル館	—	170					○	170	○	170	○	170
名前ゴム印 (預り) (260円)			—	260	○	260	○	260	○	260	○	260	○	260
画用紙綴り (預り)			—	1,040	○	1,040	○	1,040						
			—	810					○	810				
			—	400							○	400		
画用紙袋 (預り) (250円)			—	250	○	250	○	250	○	250				
消耗教材 (預り) (1,000円)			—	1,000							○	1,000	○	1,000
※メーカー販売額「—」はカタログ等に定価記載がない商品です。				合計金額		13,270		13,200		12,050		8,560		4,360